



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●手足口病が流行しています。

◆手足口病について

手足口病は、コクサッキーウイルスA16 (CA16)、CA6、エンテロウイルス71 (EV71) などのウイルスが原因となります。基本的に予後は良好ですが、時に急性髄膜炎、まれに急性脳炎を発生することもあります。なかでもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いといわれています。また、CA6では、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こる症例(爪甲脱落症)が報告されています。手足口病を発病すると、その原因ウイルスに対しての免疫は成立しますが、他のウイルスによる手足口病にはかかる可能性があります。

・**症状**……口の中、手のひら、指、足の裏などに2~3mmほどの水疱性発疹が出ます。発熱は約1/3にみられますが、38℃以下のことがほとんどです。発疹は3~7日で痂皮(かさぶた)を残さずに消失します。しかし、まれに中枢神経系の合併症、心筋炎、肺水腫、急性弛緩性麻痺などがみられることがあり、手足口病の典型的な症状がなく重症になることもあるので、注意が必要です。

・**潜伏期間**…3~5日程度

・**感染経路**…飛沫感染、接触感染、経口感染です。感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。また、感染しても無症状で、ウイルスを排泄している場合があります。

・**流行期**……夏(7月下旬ごろ)にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。

◆かかったらどうすればいいの？

ほとんどの場合、特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあるため、薄味でやわらかいものや白湯、スポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、発熱が続くときは、医療機関を受診しましょう。

◆予防法や対策は？

予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。回復後も飛沫や鼻汁からは1~2週間、便からは数週~数か月ウイルスが排出されるため、排便後やおむつ交換後の手洗いを徹底し、タオルの共用も避けましょう。



定点 種別	期 間		2023年 31週		2023年 32週	
			7/31~8/6(最新)		8/7~8/13(最新)	
	疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ ★注意		94	3.76	43	1.72
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19) ★注意		494	19.76	361	14.44
小 児 科	RSウイルス感染症 ★流行中		72	4.50	51	3.19
	咽頭結膜熱(プール熱)		5	0.31	3	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	1.19	17	1.06
	感染性胃腸炎		43	2.69	47	2.94
	水痘(みずぼうそう)		5	0.31	6	0.38
	手足口病 ★流行中		38	2.38	35	2.19
	伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		4	0.25	9	0.56
	ヘルパンギーナ ★流行中		54	3.38	30	1.88
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	5	0.31
眼 科	急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)		3	0.60	3	0.60
基 幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00